

小瀬キッズ

 地域の小学生との交流を深めよう！

8月4日（木）、地域の小学生を対象とした交流活動「小瀬キッズ」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の防止のため、参加人数や活動内容を配慮しました。

学校長の挨拶の中に、「体験し、いろんなものを見たり、感じたりすることはとても大切」という言葉がありました。スマートフォンやタブレット等の普及により、自宅にしながら様々なものを見たり聞いたりすることができるようになりました。しかし、実際に体験することを通して感じることや理解することも大きいはずです。小瀬キッズでは、「体験」を通した小学生と高校生の異学年交流も大切にしていきたいと思います。

ご参加いただいた小学生・保護書の皆さん、ご協力いただきありがとうございました。



理科の実験では、液体窒素を使って「マイナスの世界」を体験しました。実際にバラの花やバナナなどを凍らせ、どのような変化があるかについて考えました。目で見ただけでなく、実際に自分の手で触った感触から、いろいろなことが分かったようでした。



本校が力を入れている「花いけ」体験では、常陸大宮市の枝物部会の方の協力もあり、様々な枝物や花を準備してくださいました。高校生と協力して自分だけの素敵なフラワーアレンジメントを制作することができました。完成したアレンジメントはお土産として持ち帰っていただきました。



本校の菊地教諭の説明の後、色の組合せを自分で考えて立体万華鏡の制作に取り組みました。真剣な表情で万華鏡づくりに励む小学生と高校生の姿が印象的でした。限られた時間でしたが、児童全員が万華鏡を完成させることができました。世界に一つだけの万華鏡です。宝物として大切にしてください。

No Challenge No Future